

報道関係者各位

2002年 7月 30日
杏林製薬株式会社
東京都千代田区神田駿河台2-5

**ニューキノロン系合成抗菌剤『ガチフロキサシン点眼液』の
米国における承認申請について**

杏林製薬株式会社（社長 荻原郁夫）が創製したニューキノロン系合成抗菌剤「ガチフロキサシンの点眼液」につきまして、導出先である米国アラガン社（社長 D. パイヤット）は5月30日、FDAに承認申請をいたしました。

アラガン社はガチフロキサシンの優れた抗菌力と高い安全性を、当社も同社の眼科領域における屈指の開発力・販売力をそれぞれ評価し、2000年8月にライセンス契約を締結、以後アラガン社が米国において開発を進めてまいりました。アラガン社では2003年の上市を計画しており、上市後は米国など主要各国に於いて抗菌点眼剤市場の主要製品として育成したいとの意向をもっています。

当社といたしましても海外において上市済みのガチフロキサシンの錠剤・注射剤につづき点眼剤が上市されることで、海外におけるガチフロキサシンビジネスに一層の弾みがつくものと大いに期待をしています。

なお、国内におけるガチフロキサシン点眼剤は、現在導出先の千寿製薬株式会社でPhの開発ステージにあります。

以上

この件に関するお問い合わせ 杏林製薬株式会社 企画室 TEL：03-3293-3414 FAX：03-3293-3450
